

# 異常放置せず処置を



【問い】舌がんになった芸能人のニュースを見て、気になって口の中を見ると、入れ歯の縁のところの歯肉が白くなっているようです。特に痛みはないのですが、がんではないでしょうか？（長崎市、72歳女性）

【答え】普段見慣れないものが口の中にあつて、心配になったことと思います。しかし、おそろしく入れ歯が歯肉に擦れているために付いた傷で、痛みがないために、これまでお気づきにならなかったのではないかと思われます。口の中にはさまざまな粘膜の異常が起こり得ますので、ぜひかかりつけの歯科医院で適切な処置をしてもらってください。

歯の傷やかんだ痕、口内炎など、舌や歯肉に変化が起こる状況が多数あります。中には、がんの初期の状態と見分けがつきづらいものもあります。が、前述のように悪いものであることはまれで、経過観察する場合はほとんどです。

明らかにがんを疑う状況でなければ、まずは入れ歯の調整や投薬などの処置を行い、必要があれば専門機関に紹介します。また、県歯科医師会では長崎大と連携して、会員歯科医師が専門医の意見を求めることができるようにしていますので、安心してかかりつけの歯科医院で相談してください。

実は、舌だけでなく歯肉や頬など、あらゆる場所にがんができることがあります。口の中のがんの発生頻度は全身の全てのがんのうち、わずか1%程度といわれています。過剰に恐れる必要はないことを、まずは強調したいと思います。しかし、胃がんなどと異なり外から見える場所が発生するために、改めて口の中を見て異常に気づく人が多いのです。

## 質問をどうぞ

舌の表面や頬の内側などには、もともと複雑な構造をしている場所があり、普段見慣れていないと何か悪いものに見えてしまうかもしれません。一方で、口の中には入れ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8660、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

回答者 県歯科医師会  
医療情報委員会

## 口の中のがん